

事 務 連 絡
平成 26 年 10 月 31 日

冬期(積雪期)利用団体代表者 各位

国立立山青少年自然の家
所長 中 舎 喜 博
(公印省略)

不動ゲレンデロープリフトの休止について(お知らせ)

平素より、国立立山青少年自然の家をご利用いただき誠にありがとうございます。まもなく積雪期を迎えます。本所においてもご利用いただく皆さんが安全に安心して活動できるよう、冬期活動用具や施設・設備等の整備・点検を実施しているところでございます。

さて、例年、不動ゲレンデにおいて運用して参りましたロープリフトについて、索道(ワイヤー)の経年劣化のため交換が必要であるとの指摘を受けました。そこで、本所において協議を行った結果、不動ゲレンデでアルペンスキーを利用される団体が激減し、チューブそりの利用が増加してきていることから、ロープリフトの利用が年々減少しており、また、索道の交換には多額の費用が必要となること、リフトの形態が初心者・初級者には難しいことなどを考慮し、今シーズン(平成 26 年度冬期)よりロープリフトの運用を休止することといたしました。今シーズン、ロープリフトを利用する計画のあった団体の皆様には多大なご迷惑をおかけすることとなりますが、何卒ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

アルペンスキーを利用される場合には、近隣の立山山麓スキー場(極楽坂、らいちょうバレー、あわすの)をご利用ください。あわすのエリアにつきましては本所～スキー場間のデマンドバスをご利用いただけます。

なお、今シーズンより不動ゲレンデにつきましては、必要に応じ整備等を行い、常時チューブそりが利用できるよう検討しております。

また、クロスカンリースキーについては通常どおりコース整備をいたしませんのでご利用ください。

自然の家職員一同、皆様のご来所を心よりお待ちしております。